

環境に配慮した活動

環境に配慮したサプライチェーンマネジメント

● 事例:2019年度 調達方針説明会を開催

5月15日 大宮ソニックシティー 小ホールにて、316社352名の取引先(北は岩手県奥州市、南は沖縄県那覇市)にお集まりいただき、『2019年度 調達方針説明会』を開催いたしました。冒頭の小宮 副事業領域長、矢矧社長の挨拶に続き、調達センターと生産センターから、本年度の調達方針としてVE原価低減活動、生産計画、品質改善を説明しました。

まず、4月の事業領域内の調達組織統合、および7月には原動機SBUの3社統合が予定されていたため、これらの組織統合の意図など取引先の懸念に答えるよう

に説明しています。そして、IPSのサプライチェーンをさらに改善すべく、原価低減・納期厳守・不適合削減のお願いを具体的な事例やデータを多く取り入れて、お伝えしています。

すなわち、当社の生産状況・計画・改善活動などの情報を公開する事で、取引先での生産効率化、ムリ・ムダの排除にお役立ていただくと共に、品質改善活動で後戻り作業を撲滅させることができ、サプライチェーン全体として無駄のない省資源で地球にやさしく環境に配慮した調達活動の推進を目指しています。



副事業領域長挨拶



社長挨拶



受賞された購買先様